

意見発表

北海道北見市長 辻直孝

北海道道路利用者 会議常任理事



ただいまご紹介にあずかりました北海道北見市長の辻直孝です。どうぞよろしくお話し申し上げます。

まず、この場をお借りして、北海道道路利用者会議常任理事として、北海道道路の現状について説明させていただきます。

北海道は平成18年3月に旧北見市、端野町、常呂町、留辺蘂町の1市3町が合併して誕生いたしました。北海道の東部に位置する人口約11万4千人の町で、大雪山の麓からオホーツク海沿岸に至る道路延長は、東京から箱根までの距離に相当する約110キロメートルあり、東京23区の約2.3倍、岐阜県高山市、静岡県浜松市、栃木県日光市に次ぐ全国4位の行政面積を有するオホーツク圏域の中核都市であります。

また、生産量日本一を誇る玉ねぎなどの農作物や、多くの数産産物を誇るホタテなどの海産物をはじめ、1ク圏域では、全国の約4割の道の整備は着実に進んでいくもの、残念ながら、全国に比べて大変大規模な老朽化対策の必要が、私ども市町村にとりましても、必要と認識しております。

また、この場をお借りして、是非、お話しできればと思っております。

それでは、本題に戻ります。本道の強みは、言わずもがな「食」と「観光」である。道の橋梁を例に挙げますが、広域分散型の本道において、この宝を活かすことが、今後とも重要な課題として認識しております。

また、私どものオホーツク圏域では、全国の約4割の道の整備は着実に進んでいくもの、残念ながら、全国に比べて大変大規模な老朽化対策の必要が、私ども市町村にとりましても、必要と認識しております。

また、この場をお借りして、是非、お話しできればと思っております。

それでは、本題に戻ります。本道の強みは、言わずもがな「食」と「観光」である。道の橋梁を例に挙げますが、広域分散型の本道において、この宝を活かすことが、今後とも重要な課題として認識しております。

また、私どものオホーツク圏域では、全国の約4割の道の整備は着実に進んでいくもの、残念ながら、全国に比べて大変大規模な老朽化対策の必要が、私ども市町村にとりましても、必要と認識しております。

また、この場をお借りして、是非、お話しできればと思っております。

それでは、本題に戻ります。本道の強みは、言わずもがな「食」と「観光」である。道の橋梁を例に挙げますが、広域分散型の本道において、この宝を活かすことが、今後とも重要な課題として認識しております。

また、私どものオホーツク圏域では、全国の約4割の道の整備は着実に進んでいくもの、残念ながら、全国に比べて大変大規模な老朽化対策の必要が、私ども市町村にとりましても、必要と認識しております。

また、この場をお借りして、是非、お話しできればと思っております。

それでは、本題に戻ります。本道の強みは、言わずもがな「食」と「観光」である。道の橋梁を例に挙げますが、広域分散型の本道において、この宝を活かすことが、今後とも重要な課題として認識しております。

また、私どものオホーツク圏域では、全国の約4割の道の整備は着実に進んでいくもの、残念ながら、全国に比べて大変大規模な老朽化対策の必要が、私ども市町村にとりましても、必要と認識しております。

また、この場をお借りして、是非、お話しできればと思っております。

それでは、本題に戻ります。本道の強みは、言わずもがな「食」と「観光」である。道の橋梁を例に挙げますが、広域分散型の本道において、この宝を活かすことが、今後とも重要な課題として認識しております。

また、私どものオホーツク圏域では、全国の約4割の道の整備は着実に進んでいくもの、残念ながら、全国に比べて大変大規模な老朽化対策の必要が、私ども市町村にとりましても、必要と認識しております。

また、この場をお借りして、是非、お話しできればと思っております。

それでは、本題に戻ります。本道の強みは、言わずもがな「食」と「観光」である。道の橋梁を例に挙げますが、広域分散型の本道において、この宝を活かすことが、今後とも重要な課題として認識しております。

また、私どものオホーツク圏域では、全国の約4割の道の整備は着実に進んでいくもの、残念ながら、全国に比べて大変大規模な老朽化対策の必要が、私ども市町村にとりましても、必要と認識しております。

また、この場をお借りして、是非、お話しできればと思っております。

それでは、本題に戻ります。本道の強みは、言わずもがな「食」と「観光」である。道の橋梁を例に挙げますが、広域分散型の本道において、この宝を活かすことが、今後とも重要な課題として認識しております。

また、私どものオホーツク圏域では、全国の約4割の道の整備は着実に進んでいくもの、残念ながら、全国に比べて大変大規模な老朽化対策の必要が、私ども市町村にとりましても、必要と認識しております。

また、この場をお借りして、是非、お話しできればと思っております。

それでは、本題に戻ります。本道の強みは、言わずもがな「食」と「観光」である。道の橋梁を例に挙げますが、広域分散型の本道において、この宝を活かすことが、今後とも重要な課題として認識しております。

また、私どものオホーツク圏域では、全国の約4割の道の整備は着実に進んでいくもの、残念ながら、全国に比べて大変大規模な老朽化対策の必要が、私ども市町村にとりましても、必要と認識しております。

国道327号の早期復旧に向け 国の権限代行による災害復旧事業(応急復旧)に着手

台風14号に伴う大雨により、国道327号の宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山地区において、道路崩壊の被害が発生し、全面通行止めが継続しているが、応急復旧には高度な技術力を要することから、宮崎県より国土強靱化のための5か年加速化対策において、道路予算が確保されており、5か年加速化対策後におきまして、通常予算とは別枠での予算・財源を安定的に確保して、国が極めて重要であります。

本日は、お集まりの皆様と、引き続き、道路関係予算のさらなる拡充につきまして、全力で訴え続けて参ります。

今後、現地の地質調査結果等を踏まえ、仮橋等による応急復旧に着手し、早期の片側交互通行での交通解放を目指している。

【直轄代行の概要】
国道327号 宮崎県東臼杵郡諸塚村大字七ツ山地区(応急復旧の実施)

講演会

その先の「みち」へ全力疾走
どこにもチャンスは転がっている



森本稀哲
元プロ野球選手 (日本ハム・DeNA・西武)

「防災・減災、国土強靱化の推進」を進めるためには、災害に強い道路ネットワーク機能の確保や老朽化対策を引き続き進めていく必要があり、これらの実現に高規格道路のミッシングリンクの解消、高規格道路と代替機能を発揮する直轄国道とのダブルネットワークの強化等を進めることとなる。これらの施策を着実に進めていくためにも、令和4年度第2次補正予算のみならず、令和5年度予算においても、必要となる規模の予算を確実に措置すること、防災・減災、国土強靱化を着実に進めていくことだ。

平均約3割お得な周遊パスを 平日の利用のみ合計で 約4割お得に拡充

販売価格の15%のポイント追加付与を実施

NEXCO東日本、NEXCO中日本、NEXCO西日本、宮城県道路公社は、土曜・日曜・祝日に集中している観光需要を平準化する観点から、高速道路観光周遊割引(「周遊パス」)を平日のみの利用期間で申込みのうえ利用した場合、周遊パス販売価格の15%分のETCマイレージサービスのポイントを追加付与するキャンペーンを実施している。これにより、平均約3割得る利用期間が延長される。また、ETCマイレージサービスのポイントが、合計で約4割得となる。

今回のキャンペーンは、社会資本整備審議会 道路分科会 国土幹線道路部会の「中間答申(2021年8月4日付け)」において、繁忙期を中心に激しい渋滞が発生している状況や、観光需要を平準化する取組みが進められている状況

から令和5年3月31日(金)の間に実施期間が終了する周遊パスの場合、当該周遊パス実施期間終了日まで。

【利用方法】
▽周遊パスを利用して走行する前までにETCマイレージサービスに登録する(すでにETCマイレージサービスを利用している場合、新たな登録は不要。また、ポイントの追加付与を受けるための特別な手続きは必要ない)。
▽ETCマイレージサービスに登録したETCカードを準備し、当該カードで高速道路会社各社が販売する周遊パスに申込みのうえ、周遊パスの所定の条件に従って利用する(既に今回のキャンペーンの要件を満たして申込みしている場合、改めての申込みは不要)。
▽キャンペーンの要件を満たす場合には、利用月の翌々月20日にポイントが付与される。

振

最近、コロナ禍以前とまではいかないにしても、道路を使用したマラソン大会が復活・再開してきているようだ。中には高速道路を使用する大会もあると聞く。こういったイベントが開催できているのも、道路管理者や道路を利用する者が適切な維持管理し、それを適切に利用している道路があることである。道路は経済・国民生活を支えるだけでなく、このようなイベント等が開催できることをしっかりと認識することで、導く形での恩恵を感じることができるようになる。

しかし、一方、近年の日本では地球温暖化の影響などの災害の激甚化・頻発化が顕著になってきており、今年も線状降水帯による豪雨や記録的な大雨が相次いだ。日本各地では道路を含めたインフラ施設への甚大な被害が頻発したことは記憶に新しいところである。

また、3月16日に宮城県を中心とした東北地方で福島県沖を震源とした震度6強の地震、6月19日に石川県能登地方を震源とした震度6弱の地震が発生するなど地震でも、道路を含めたインフラ施設でも被害が出ている。南海

防災・減災、国土強靱化の 着実な推進を

国土強靱化の取組のみならず、更なる取組を進めていくために次期基幹計画の検討を進めることとされており、来年度以降の防災・減災、国土強靱化に向けての前進だと捉えられた。防災・減災、国土強靱化は待ったなしである。

政府は10月28日に「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を、11月8日にはそれを盛り込

また、3月16日に宮城県を中心とした東北地方で福島県沖を震源とした震度6強の地震、6月19日に石川県能登地方を震源とした震度6弱の地震が発生するなど地震でも、道路を含めたインフラ施設でも被害が出ている。南海

また、3月16日に宮城県を中心とした東北地方で福島県沖を震源とした震度6強の地震、6月19日に石川県能登地方を震源とした震度6弱の地震が発生するなど地震でも、道路を含めたインフラ施設でも被害が出ている。南海

また、3月16日に宮城県を中心とした東北地方で福島県沖を震源とした震度6強の地震、6月19日に石川県能登地方を震源とした震度6弱の地震が発生するなど地震でも、道路を含めたインフラ施設でも被害が出ている。南海

また、3月16日に宮城県を中心とした東北地方で福島県沖を震源とした震度6強の地震、6月19日に石川県能登地方を震源とした震度6弱の地震が発生するなど地震でも、道路を含めたインフラ施設でも被害が出ている。南海

高速道路の主な工事に伴う通行止め・規制情報

- 【工事通行止め】
 - ◇首都圏中央連絡自動車道 久喜白岡JCT～神崎IC
11月21日(月)～11月28日(月) 各日20:00～翌5:00
12月5日(月)～12月9日(金) 各日20:00～翌5:00
 - ◇横浜横須賀道路 逗子IC
11月21日(月)～11月22日(火) 各日21:00～翌6:00
11月28日(月)～12月5日(月) 各日21:00～翌6:00
12月12日(月)21:00～14日(水)6:00
令和5年1月10日(火)～令和5年1月16日(月) 各日21:00～翌6:00
令和5年1月20日(金)～令和5年1月30日(月) 各日21:00～翌6:00
令和5年2月6日(月)～令和5年2月15日(水) 各日21:00～翌6:00
令和5年2月27日(月)～令和5年3月9日(木) 各日21:00～翌6:00
 - ◇中央自動車道 内津峠PA(下り)
12月3日(土)～12月4日(日) 各日21:00～翌5:00
 - ◇西名阪自動車道 松原JCT～天理IC
11月28日(月)～12月3日(土) 各日20:00～翌6:00
 - ◇阪神高速14号松原線 大堀出口～松原JCT(下り)
11月28日(月)～12月3日(土) 各日20:00～翌6:00
 - ◇山陽自動車道 龍野IC入口(上り)
12月5日(月)～12月10日(土) 各日20:00～翌6:00
 - 【リニューアル工事】
 - ◇東名高速道路 大井松田IC～御殿場IC(下り)
令和5年1月10日(火)5:00～令和5年3月24日(金)24:00